

深圳日鋳商貿有限公司

金属加工品を徹底強化

新たな仕組みで業容拡大

J X 金属商事の現地法人である深圳日鋳商貿有限公司（川村由文総経理）は、得意とする金属加工を中心とした業容拡大に取り組む。香港における在庫販売など新たな仕組みを導入。表面処理や原料リサイクル、化学品など他部門および他社とのコラボレーションも積極的に推進していくことでビジネス拡大につなげる。

J X 金属商事の現地法人である深圳日鋳商貿有限公司（川村由文総経理）は、得意とする金属加工を中心とした業容拡大に取り組む。香港における在庫販売など新たな仕組みを導入。表面処理や原料リサイクル、化学品など他部門および他社とのコラボレーションも積極的に推進していくことでビジネス拡大につなげる。

のがリン青銅やステンレスなど幅広く取り扱う金属加工品で、J X 日鋳日石金属グループとのコラボレーションによりコルソン系合金などの高付加価値商材の取扱が増えたことが功を奏した。

また金属加工品の顧客に対してメッキ液などの表面処理剤、環境対応商品の炭化水素系洗浄剤 NS クリーン などの化学品を提案しさらにそこで発生したスクラップを原料リサイクル部門で回収するという日本で確立したビジネスモデルを展開し、総合力を生かした業容拡大を目指す。J X 日鋳日石金属グループなどとのコラボレーションもさらに強力に推進していく。

今年さらなる成長を目指しており、主力とする金属加工品を徹底的にテコ入れする方針。この一環として、香港に倉庫を確保し、母ロールの在庫販売を

今年さらなる成長を目指しており、主力とする金属加工品を徹底的にテコ入れする方針。この一環として、香港に倉庫を確保し、母ロールの在庫販売を

今年さらなる成長を目指しており、主力とする金属加工品を徹底的にテコ入れする方針。この一環として、香港に倉庫を確保し、母ロールの在庫販売を



川村総経理

深圳日鋳商貿有限公司は2006年の設立で、J X 金属商事が70%、台湾日鋳金属が30%それぞれ出資する。広東省をはじめとした華南地区を事業エリアとし、金属加工品、表面処理薬品、化学品の販売のほか、原料リサイクル事業を手掛ける。現在の陣容は10名強。

11年度の売上高は1760万円と、前年度に比べ20%強増加した模様。とりわけ好調だった



将来的には電子部品関連をはじめとした需要業界の集積が進む内陸部など中国全土に事業エリアを拡大する構想も浮上している。そのため人材育成にも力を入れており、すでにローカルスタッフを対象とした日本での研修などにも取り組んでいる。

広東省深圳市羅湖区南湖路深華商業大廈2503单元

電話86-755-8268-7761 F A X 86-755-8268-7765